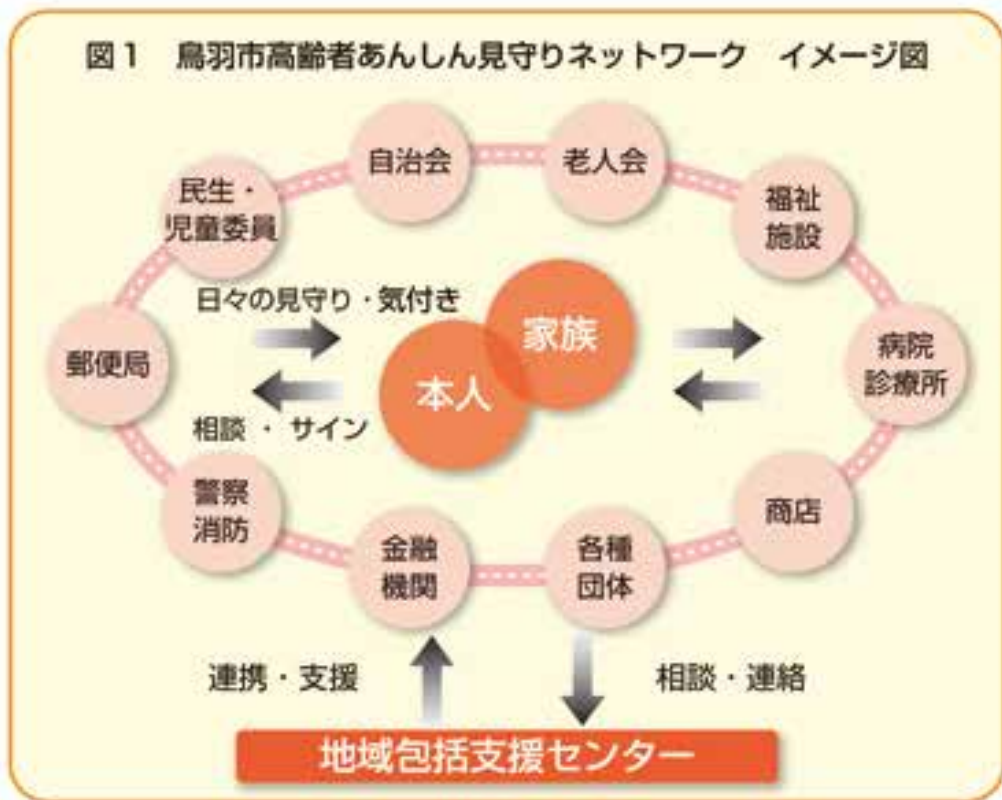




図1 鳥羽市高齢者あんしん見守りネットワーク イメージ図



市では高齢者が地域で安心して生活ができるようにみんなで見守り支えていくためのネットワーク作りを行っています。

今回は高齢者あんしん見守りネットワークの現状について紹介します。

高齢者あんしん見守りネットワークとは

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、地域のみなさんや関係機関が普段の生活、業務の中で見守り、支えていくネットワークです。(図1)

みんなで見守っています!!

現在、見守りネットワークに協力している事業所は50店あり、協力店は店舗先などにステッカーを貼っています。



協力店登録ステッカー



車に貼られたステッカー

見守り協力店は特別なことをするのではなく、普段の業務の中で、無理なくできる範囲での気軽な声掛けなどを行います。小さな関わりから高齢者の異変や不調が分かることがあります。

協力店は、気になる高齢者や支援が必要な方がいた場合は、地域包括支援センターに連絡をしていただくことになっています。

講演会で知識を習得

高齢者を見守るために必要な知識を得られるよう、協力店のかたには講演会に参加していただいています。

今年度は認知症、成年後見制度についての講演会を実施しました。今後もさまざまな知識を得て、地域で見守りが行えるよう講演会を開催していきます。

講演会は協力店以外のかたも参加できますので、ぜひ参加してください。



成年後見制度講演会の様子



認知症講演会の様子

i TV行政チャンネルとば
(デジタル123ch)
3月 火・木・日曜日
(10日(日)・28日(木)・31日(日)を除く)
午後1時10分～午後7時10分～
特別番組「認知症講演会」
を放送します

みなさんの周りの高齢者でこのようなかたはいないでしょうか。(図2)

小さな「気付き」が困っている高齢者を助けることにつながります。みんなで高齢者を見守りましょう。

協力店(員)募集中!!

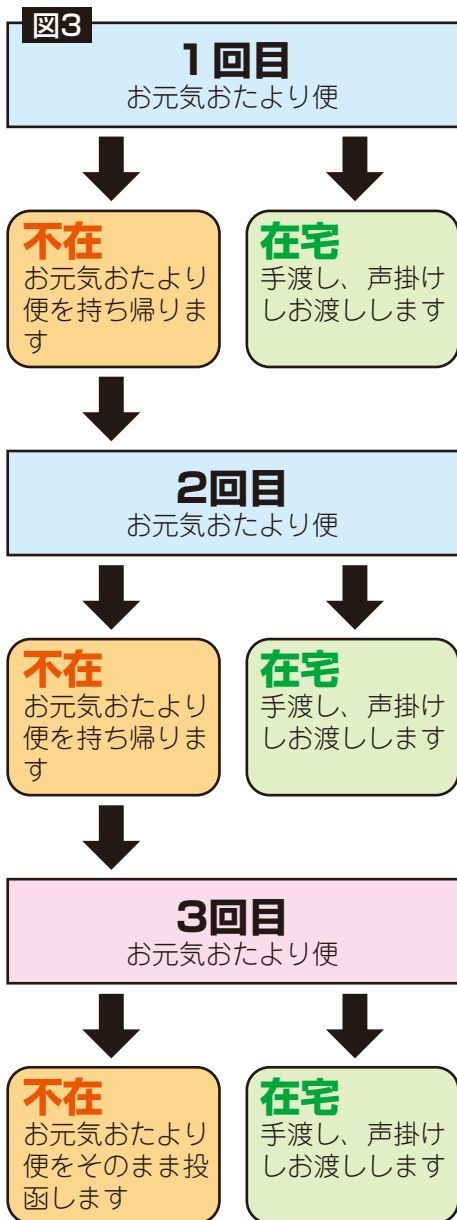
高齢者を見守る事業所や協力を随時募集しています。見守りは支援が必要なかたを介護サービスなどへつなげる重要な役割を果たします。少し意識して高齢者の様子を見守り、普段から気に掛けていただくことが小さな「気付き」につながります。協力していただける事業所は地域包括支援センターに連絡してください。

こんな気付きはありませんか?

図2 高齢者に対する小さな気付き イメージ図

こんな高齢者はいませんか?

- ・服装が不自然なまま外出している
- ・話をすると、知り合いがなく寂しいと悩んでいた
- ・見慣れない人が家に出入りしている
- ・夜になっても家に明かりがつかない
- ・最近、外出している姿を見かけなくなった
- ・洗濯物が干されなくなった
- ・急にやせた(または太った)
- ・顔や腕などに不自然なあざが多くなった



若草色の封筒

年4回お便りをお届けします。封筒は若草色で、地域包括支援センターのマークとなっている高齢者夫婦が印刷されています。

どんなお便りを届けるの??

市では、今年度から高齢者に見守りの目が少しでも増え、支援ができるよう日本郵便株式会社と協力し、新たな見守り事業を始めました。

一人暮らしの高齢者にお便りをお届けしています!

お便りは、郵便配達員が本人に手渡しまたは声掛けをしてお届けし、見守りを行っています。

見守りができるよう声掛けをし、お届けしています!



お元気おたより

お便りの内容は、季節性の流行疾病の注意案内、地域包括支援センターの紹介、介護保険制度の紹介などです。高齢者に必要な情報をお送りします。

住み慣れた地域でいつまでも生活ができるように地域全体で高齢者を見守り、支援して住みよい鳥羽にしていきたいです。

この2つの条件を満たすかたが対象者となります。

・市内在住の65歳以上の一人暮らし高齢者
・民生委員が作成する福祉票がある一人暮らし高齢者
※福祉票とは 民生委員が一人暮らし高齢者のかたがたを支援する中で、見守りや支援が必要なかたとして把握するためのものです。

対象になる高齢者は?

1、2回目で不在の場合はお便りを持ち帰らせてもらい、3回目でも不在の場合はそのまま投函します。(図3)